

復興 宮城のいま



▲パソコン講座の受講者とSwitchのスタッフ。和やかな雰囲気に徐々に受講者の緊張もほぐれ、勉強が進みます。

被災地を訪問して無料パソコン講座を展開！

スイッチ 認定特定非営利活動法人 Switch

■私たち認定NPO法人Switchでは、被災地就労支援の一環として無料パソコン講座とお仕事相談会を実施しております。

■Switchのスタート

認定NPO法人Switchは、平成23年3月2日、ちょうど東日本大震災の一週間前に設立しました。当初は心に不調を抱えた若年者の「まなび」「はたらく」をサポートするために、福祉サービス事業を設置し、おもに精神疾患を抱えた若者の就労サポートを目的としていました。

しかし設立直後の震災により、法人の取組み分野は大きく拡大することとなりました。

■沿岸部での就労課題

比較的復旧が早かった仙台市周辺部と比較して、沿岸部、特に死者不明者3600人以上という甚大な被害を受けた石巻市において、地域の若者を取りまく環境は大きな変化を余儀なくされました。

なかでも就労と就学の課題は非常に深刻でした。住まいが流出し、家族も失い途方に暮れる20代、30代の働き盛りの方や、沿岸部で被災し、内陸の学校に転校したものの適応できずに応急仮設住宅に引きこもる若者など、多くの課題が噴出していました。

■被災者支援への取組み

そのような状況を受け、私たちは「ユースサポートカレッジ石巻NO-T-E」を石巻中心部に設置し、被災地特有の就労課題に取り組んで参りました。

大きな被害を受けた企業と連携し、「有給職業体験プログラム バイターン」を展開。すぐに企業内で働き始めることが難しい若者に対し、職業体験を積み重ねることで、ゆるやかに企業との信頼関係を築いていく伴走型の就労サポートで、多くの若者と地域の雇用との接点を創出しました。平成27年度からは、復興近郊に農園を展開し、仮設住宅の奥に引きこもっている方が外に出るきっかけにするための中間的就労の場として活用いただきました。

■沿岸部での就労課題

出張型就労支援としては、沿岸部の応急仮設住宅集会所を皮切りに移動式のパソコン講座を実施し、「はたらく」への一步を踏み出していただくプロジェクトを開催。運営には大手一丁企業様や自治体、協力団体の皆様のご協力をいただき、社会福祉協議会様とも連携し、現在も気仙沼地区、牡鹿地区、東松島地区、多賀城・塩釜・七ヶ浜地区・岩沼地区にて、被災地で就労課題を抱えながらもなかなか外の出るきつかけがつかめない若者や高齢男性など、幅広い

年齢層の多くの方々に参加いただいています。

また、平成29年度は石巻圏域の高等学校2校と提携し、学校内に

気軽に「まなび」「はたらく」について相談ができる定期的な窓口を設置し、高校生特有の就学、就労課題に取り組んでいます。

■若者支援のこれから

私たち認定NPO法人Switchは、震災後の東北で本当の復興を目指すためには、地域のあちこちで埋もれそうになってしまいる若者に、様々な方法で地域に出てきていただき、「本物の体験」を積みながら、将来的に地域の担い手になつていただくことが重要だと考えています。

これからもより多くの若者が希望を持つて「まなび」「はたらく」ことができるように活動を進めてまいります。(寄稿)



▲受講者ひとりひとりのペースに合わせて丁寧にサポートします。

